

市川市立第一中学校

1 学校の紹介

(1) 校訓

大成 ～未来へつなぐ可能性への挑戦～

(2) 学校教育目標

共に学び、創造し、行動する生徒の育成

(3) 目指す学校像

- ・生徒・教職員が生き生きと活動する学校
- ・気持ち良い挨拶が聞こえてくる学校
- ・環境設備が行き届いている学校
- ・地域と共に歩み、地域を大切にする学校
- ・生徒・保護者・教職員が誇りに思える学校

(4) 目指す生徒像

- ・一人をよく考え、みんなと手を取りあって前進する生徒
- ・よく学び、豊かな心情と確かな意志を持とうと努力する生徒
- ・いつも健康でよく働き、みんなに奉仕する生徒
- ・明るい気品に満ちた一中生であり、将来大成を期している生徒

(5) 図書館教育目標

教科・領域・学習活動を支援
役に立つ図書館



主体的に学ぶ力をつける
・課題を持ち、追求し、
表現する方法を学ぶ。

多様な読書活動
楽しい図書館



豊かな心を育てる
・読書を通して多くの感動を体験させ
考え、表現する力をつける。

2 自校の学校図書館の現状

整備状況

第一図書室→7類～9類配架

第二図書室→0類～6類配架

分類	0：総記	1：哲学	2：歴史	3：社会	4：科学
冊数	605	332	2,499	1,736	1,441
5：工業	6：産業	7：芸術	8：言語	9：文学	合計冊数
696	412	1,460	671	4,895	14,747

利用状況

【2018年度貸出冊数】

	1年生	2年生	3年生	合計
生徒数	219	205	236	660
貸出冊数	1,419	562	348	2,329



3 司書教諭と学校司書が連携した取組

月	図書館教育	図書委員会
4	・教育目標、年間指導計画 ・新年度図書館オリエンテーション（図書館利用案内、配架など） ・毎月、図書館だより発行 ・図書館の現状調査	・前期図書委員会発足 組織作り 年間計画作成 予算作成
5	・図書購入希望調査 ・図書購入（TRC展示会） ・蔵書数調査 ・学校図書館年間利用計画調査	・体育祭協力 ・図書委員会だより発行
6	・新着図書配架	・生徒総会参加 ・体育祭の反省
7	・朝読書、読み聞かせ ・統計調査 ・夏期休業中の読書の推進 ・1学期の反省	・読み聞かせ協力 ・図書委員お薦めの本紹介 ・高校生とのビブリオバトル（中高連携）
9	・館内整理 ・学校図書館自己評価表	・文化祭ステージ発表準備 ・図書委員会だより発行
10	・図書購入 ・図書館活用授業時数調査	・文化祭ステージ発表 ・文化祭の反省
11	・新着図書配架 ・館内整理	・後期図書委員会発足 ・図書委員会だより発行 ・図書委員お薦めの本紹介 ・全校集会での発表
12	・朝読書、読み聞かせ ・蔵書点検 ・冬期休業中の読書の推進 ・図書購入 ・2学期の反省	・読み聞かせ協力 ・蔵書点検手伝い ・クリスマスカード作成（中高連携）
1	・新着図書配架 ・館内整理	・三送会招待状作成
2	・図書資料の廃棄	・図書委員会だより発行
3	・朝読書、読み聞かせ ・貸出し本回収 ・図書館年間利用調査 ・図書館活用授業時数調査 ・図書館チェックリスト ・図書館活用実態調査 ・次年度へ向けての反省	・三送会の反省 ・一年間の反省 ・読み聞かせ協力

今年度、不明本ゼロ

(1) 読書推進活動

ア 朝読書（読書週間）

定期試験終了後、毎学期末の授業前の 15 分間、全校で朝読書に取り組んでいる。小学校から継続した読書活動を推進し、生徒に読書習慣を身に付けさせている。また、黙読を行うことで、落ち着いた気持ちで 1 時間目の授業がスタートできる。

	市川市立第一中学校 学校だより えのき 校訓：大成 目標：共に学び 創造し 行動する生徒	令和元年度 第7号 校長 林 直也 令和元年 11 月 29 日
○全校集会 11月21日（木）に全校集会を行い、最初に表彰を行いました。（下記参照） 続いて26日から始まる読書週間のお知らせを図書委員の、と末廣先生とで会話形式で行われました。一冊の本から干ばつを救った少年の実話など興味深いものでした。  読書週間を伝える図書委員会		

学校だよりで紹介されました！

イ 読み聞かせ活動

年3回の朝読書のときに、外部ボランティアの方が各クラスに入り、読み聞かせを行っている。各学年の授業や活動内容を考慮し、平和・人権・差別・家族などテーマを決めながら、中学生にふさわしい内容の絵本を学校司書も一緒に選書している。生徒は真剣な表情で聞き、命や平和などについて考える良い機会となっている。



＊2019年度 1学期 1年生「庭のマロニエ」

(アンネ・フランクを見つめた本)

2年生「りんごのおじさん」

3年生「ハルバあちゃんの手」

2学期 1年生「まいごのねこ」

2年生「ゾウの森とポテトチップス」

3年生「ウェン王子とトラ」

【生徒の感想】

- ・「まいごのねこ」 1匹のねこを探すのに、国をまたいでこんなにも多くの人が協力できるのかと感動した。人間が一つのことにみんなで協力し合うということは、とても素晴らしいことで大切なことだと思った。
- ・「ゾウの森とポテトチップス」 野生動物の生活や熱帯雨林が人間によって壊されていることを知った。そんな動物たちを助けている人たちの話を聞き、自分も参加してみたい。改めて物を無駄にせず、感謝の気持ちを忘れないでいようと思った。

ウ 高校生とのビブリオバトル

図書委員会活動の一環として、また、中高連携の取組として、隣接している公立高校生とのビブリオバトルを毎年行っている。各校5組出場し、交互に前に出て制限時間の5分間を有効に活用しながら発表を行っている。高校生に負けないぐらい堂々と発表し、中高図書委員会の交流も深めることができている。

第一中学校&国府台高校 ビブリオバトル

7月10日（水）国府台高校の図書館にて、第一中学校と国府台高校の図書委員会による、合同ビブリオバトルが開催されました。司書教諭 末廣美貴子先生と学校司書 荻原身知子さんの提案からはじまった国府台高校とのビブリオバトルは、今年で3年目を迎えました。昨年度、図書委員会に所属していた生徒も参加するなど、生徒たちの間にも国府台高校との交流が浸透し、楽しみにしているようでした。



ビブリオバトルには、各校5組の出場があり、第一中学校、国府台高校の順に、交互に前に出て行いました。制限時間の5分を有効に活用しながら、どの発表も説得力のある内容で、聞き手の心に響くものでした。すべての発表を聞き終えた後、紹介された本を手を取る生徒や「この本図書館に置いてありますか」と質問する生徒など、「読んでみたい」と多くの生徒たちが感じたようでした。また、中学生と高校生の本を選ぶ時の視点が異なるため、新しい感性やものの見方・考え方に触れるよい機会となっていました。中学生の発表の中では、本を通して自分を振り返る場面がありました。例えば、「20歳のソウル」の紹介では、「やりたいことがあっても予期しない事態がおきてできなくなってしまうことがある。やりたいことができる環境があることが幸せだと思ってほしい。」と発表していました。このような今回の経験を活かして、第一中学校の図書委員会の生徒たちは、文化祭にて全校生徒に向けて、劇を取り入れたビブリオバトルを行うそうです。



【国府台高校の生徒が紹介した本】

- レオナルドの罪 作：真保 裕一
- 新釈 走れメロス 作：森見 登美彦
- 午前0時の忘れもの 作：赤川 次郎
- 千年後の百人一首 作：清川 あさみ
- 最果 タヒ
- 傲慢と善良 作：辻村 深月

【第一中学校の生徒が紹介した本】

- 告白 作：湊 かなえ
- 心の森 作：小手鞠 るい
- コーヒーが冷めないうちに 作：川口 俊和
- 20歳のソウル 作：中井 由梨子
- ひと 作：小野寺 史宣

学校図書館支援センター通信で市内に紹介されました！

エ 文化祭でのステージ発表

図書委員会では、1学期に行う「高校生とのビブリオバトル」の体験を踏まえ、秋の文化祭で劇を取り入れた図書の紹介を行っている。縦割りで3グループに分け、選書し、劇で表現したい部分の脚本を書き、司会進行・配役・大道具・小道具・音響などの係を決め、練習を重ね全校生徒の前で発表する。劇で表現することで作品の魅力を十分に伝えることができ、紹介した図書の貸出しも増えている。

(2) 学習等に関する支援

図書資料を活用した授業

本校では、総合的な学習の時間や各教科で図書館活用が積極的に行われている。昨年度、授業での活用のために教職員に貸出した図書は、約1,800冊であった。下記の表は、昨年度、図書館活用がされた教科と単元及び内容である。

学年	教科	単元及び内容
1年	国語	中国の名言（故事成語） ベンチ
	美術	絵文字 切り絵（動物） 粘土で作ろう
	総合	図書館オリエンテーション 世界の国調べ 職業調べ
2年	国語	近代の短歌 日本の花火の楽しみ
	英語	世界で一番を調べよう 多言語の国調べ 都道府県調べ
	理科	生物調べ
	美術	切り絵（鎌倉） 木彫り
	家庭科	献立作り
	総合	校外学習（鎌倉） 職場体験 修学旅行（京都・奈良事前学習）
	道徳	わたしのいもうと
3年	国語	近代の俳句
	美術	切り絵（京都・奈良）
	家庭科	保育 絵本作り
	総合	修学旅行（京都・奈良）
院内	総合	校外学習（鎌倉） 読書 クリスマスカード制作 果物を育てる

*このほかに、国語・英語の学習では、各種辞典を活用している。

(3) 市川市学校図書館ネットワーク

市川市の学校図書館を支えている一つに学校図書館システムがある。中央図書館を起点に2台の配送車が、市内小・中・義務教育学校・特別支援学校・幼稚園を週2回一巡する。この「図書相互貸借システム（ネットワーク便）」を利用することで、充実した図書資料を揃えることができる。授業で必要な図書資料を教職員と学校司書が相談して準備をするが、冊数が不足していたり、自校に蔵書がない場合は、パソコンで市内学校図書館蔵書を検索して調べたり、メーリングリストを利用して貸出しを依頼することができる。

*** ネットワーク利用状況 【2018年度】**

他校への貸出し	252件	貸出し合計冊数	1,419冊
他校・公共図書館からの借受け	14件	借受け合計冊数	582冊

学年	教科	単元及び内容	借受け冊数
1年	国語	中国の名言（故事成語）	42冊
	美術	切り絵（動物）	44冊
		粘土で作ろう	52冊
	総合	世界の国調べ	188冊
2年	国語	日本の花火の楽しみ	35冊
	家庭科	献立作り	58冊
	道徳	わたしのいもうと	1冊
3年	家庭科	絵本作り（前期）	49冊
		絵本作り（後期）	50冊
その他	図書委員会	ビブリオバトル	2冊
		文化祭	19冊
	読み聞かせ	絵本（1学期）（2学期）（3学期）	42冊

4 成果と課題

（1）成果

市川市は全国に先駆けて学校図書館と公共図書館がネットワークでつながっており、図書館の活用が活発に行われている。学習においては、本校も総合的な学習の時間や各教科での利用が多く、学校司書の果たす役割は大きい。さらに、本校には第一図書室、第二図書室、図書準備室があり、授業が重なっても工夫して複数展開することができる。

このように恵まれた環境であっても昨今はインターネットの普及により、本を使わずとも簡単に調べられる時代となり、図書資料自体の存続が危ぶまれている。また、授業の進度を考えると、調べ学習などの図書館を活用した学習に発展させることがなかなか難しい。そんな中、3年生の2学期に古典の調べ学習を工夫して実践することができた。その結果、図書資料の良さに気付く生徒が多くいて、上級学校に進むに当たっての土台が作れたのではないかと思う。本校は市川市「創意と活力のある学校づくり」学力向上推進研究指定を受け、「充実感もてる授業のあり方」を研究テーマにしているが、このあと紹介する授業実践は確実に学力向上につながったと考える。また、図書委員会の活動は活発に行われ、中高連携の取組にも寄与できた。

（2）課題

市川市は年3回の学校図書館ネットワーク会議と年1回の司書教諭研修、年5回の学校司書研修が行われている。各学校の実践発表が行われているが、若年層の先生が増えてきている中、研修内容を共有していくことが必要だ。経験が少ない分、図書館活用に二の足を踏むことがないように、授業時間を工夫する手立てを伝えていきたい。

5 授業実践の記録

3年国語 古典の魅力を伝えよう

単元の目標

- ・図書資料を読み、古典の魅力を感じ取ろうとする。【国語への関心・意欲・態度】
- ・様々な文章を集め、工夫して編集することができる。【書くこと】
- ・我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それらを尊重し、親しむことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

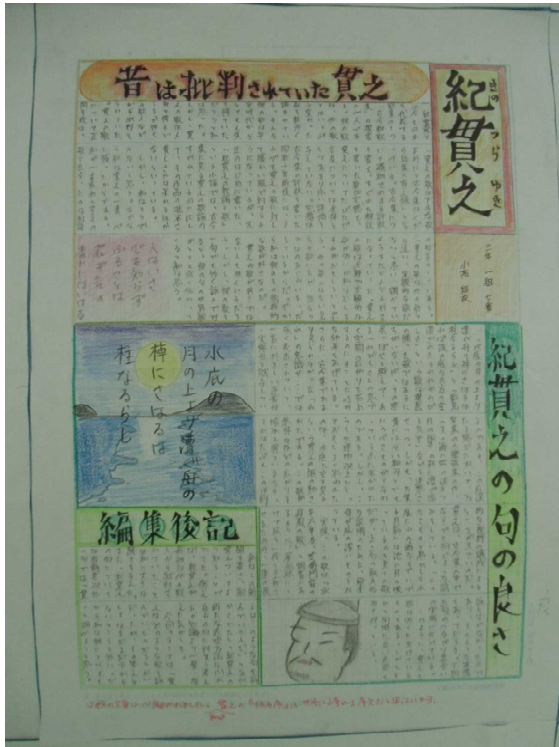
単元の指導計画

次	時	ねらい 学習活動
1	1	☆伝統的言語文化の中から課題を決め、魅力を伝えよう。 調べ学習の流れを理解し、おおまかなテーマを持つ。 テーマに合った図書資料を選択する。
2	2	☆テーマ(問い)を決めて、情報を集めよう。 図書資料を読み、問いを設定し、情報カードを書く。
3 ・ 4	3 ・ 4	☆伝えたいことを整理して、工夫して書こう。 文章の形態を選択してまとめる。

【生徒の感想】

- ・いつもはインターネットで調べ物をしていましたが、本で調べてみて絵や文字がまとまっていて、とても読みやすかったです。私が読んだ本は絵が中心でしたが、誰が見ても理解できるような内容だったのでまとめやすかったです。インターネットよりも確実にわかりやすく、まとめるのが楽しかったです。深くまで理解することができました。





- ・インターネットは個人の見解が多く記されているが、本は確実性の高い情報が多いので、そこが本の良いところなのだろうと思った。



- ・自分の好きな百人一首と日本の名所を組み合わせた調べ学習は、とても楽しかった。自分の知識と合わせて考察することで、より深めることができた。複数の本を見て一冊に絞ったが、見比べることによって新たな発見もあった。やはり、本を使う調べ学習は大切だと思った。年齢、性別関係なく、景色に感動する気持ちは同じだなあと感じた。



公共図書館や他校から借りた本

2年国語 夢を跳ぶ ～情報収集の達人になろう～

単元の目標

- ・筆者のものの見方や考え方を捉え、自身の考えを深めようとする。
【関心・意欲・態度】
- ・多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめることができる。
【読むこと】
- ・相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解することができる。
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

単元の指導計画

次	時	ねらい 学習活動
1	1	☆関心を広げ、自分の課題を発見しよう。 全文を通読し、感想を交流する。 マッピングを班内作成し、共有する。 関心のあるテーマを絞る。
2	1	☆情報を収集する準備をしよう。 疑問をメモにまとめ、課題を決定する。 図書・インターネットでの調べ方・注意点を理解する。
3	1	☆情報収集しよう。 図書館やコンピューター室で、情報を集め、情報カードに記入する。
4	1	☆情報を整理しよう。 情報カードを整理し、自分の意見をまとめる。
5	1	☆調べた情報を交流しよう。 班内で発表・交流する。代表者は全体に発表する。

公共図書館や他校から借りた本



1 年国語 「故事成語」を使って起承転結の短い文章を書こう

単元の目標

- ・図書資料を読み、古典の魅力を感じ取ろうとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- ・様々な文章を集め、工夫して編集することができる。 【書くこと】
- ・我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それらを尊重し、親しむことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

単元の指導計画

次	時	ねらい 学習活動
1	1 ・ 2	☆故事成語とはどのようなものか。また中国の言葉である「漢文」を読むにはどうしたらよいか。 自分が知っている故事成語を発表し、故事成語とはどのようなものかを確認する。故事を読み、何でつじつまが合わないのか考え、「矛盾」の意味を確認する。送り仮名や返り点の働きを学び、訓読の決まりを理解する。
2	3 ・ 4	☆由来となった故事と意味を知り、自分が使ってみたい故事成語を三つ選び、その中からさらに一つ選んで故事成語を使った短い文を書こう。 図書資料を読み、できるだけ多くの故事成語の由来と意味を知り、三つ選ぶ。紹介したい故事成語を一つ選び、選んだ故事成語を用いて、起承転結の短い文を書く。
3	5	☆みんなが作った文を読み合い、感想を伝えよう。 作成した文章を互いに読み合う。 作成した文章が故事成語とあっているか、起承転結の構成になっているかなどについて感想を書き合う。



二つの図書館

